

仕事の出来る人の行動特性から、
行動力のアップに繋げる



リーダーに求められる行動特性を発揮し 成果に結びつける

行動力アップ研修 >

6.23 TUE
13:00~14:30

オンラインセミナー

働き方改革による労働生産の向上のために、管理職に求められる役割は、以前にも増して重要になってきています。

労働時間の管理と計画的な業務の遂行、コロナ後の市場の変化への対応、部下・後輩の指導育成など管理職の悩みは尽きません。そして多くのリーダーがプレイングマネージャーとしてタスクに忙殺されながらマネジメントされており管理職の育成が進みません。

本セミナーでは、コンピテンシーを用いて多数の企業の管理職の育成を支援してきた望月禎彦氏による実践的な研修により、管理職としての自身の課題・求められる行動特性を理解し、行動力のアップに繋げるメソッドを徹底的に解説致します。

講演

望月 禎彦氏

有限会社人事政策研究所 代表

『行動力アップ研修』



なぜあの会社の社員は、
「生産性」が
高いのか？

1000社が
大絶賛！

部下の「仕事のクセ」が
最強の「能力」に化ける。

望月 禎彦 著 / 高橋 恭介 著

登壇者プロフィール



有限会社人事政策研究所
代表

望月 禎彦氏

<プロフィール>

1960年生まれ。立教大学卒業後、ユニ・チャーム株式会社人事部を経て、92年人事政策研究所設立。支援先を中堅企業に絞り、支援先企業が人事政策面で1人立ちできるよう徹底的に指導するのが特徴。「行動」をベースにした独自の理論を駆使し、『できる人』を着実に増やし、成果につなげる。実際の支援先は29年間で350社を超える。2000年には、そのノウハウを結実させたソフトウェア『コンピテンシーマスター』を、2010年には、人事評価ASPシステム『コンピリーダー』を開発し、ユーザー数は累計3,000企業にのぼる。その導入先は上海、台湾にも及んでいる。また、大手メガバンクの講演では、 constants に年間1,000名超の経営者/マネージャーに実践ノウハウを提供。2011年には、20年間のノウハウを体系的に提供する塾形式の『望月人事クラブ』を主宰し、全国各地に『出来る人を増やす』活動を推進している。
近著に『なぜあの会社の社員は、「生産性が高いのか』』

このセミナーで学べること

- ◆管理職としての自身の強み・弱みの整理
- ◆失敗事例から学ぶ、管理職としての求められる行動特性
- ◆課題解決力を実践を通じて鍛えるための方法
- ◆事例で学ぶメンバー育成の方法

下記の内容に興味のある企業の方におススメ

- ◆自身の課題を整理し
- ◆部下・後輩の指導・育成をの方法を
- ◆さらなる成果をだしたいと考えている管理職の方
- ◆管理職のマネジメント力の強化したいと考えている経営者の方

◆当日のタイムスケジュール

講演 13:00～14:30 『行動力アップ研修』

人事政策研究所 代表 望月 禎彦氏

- ①業務分析 できる管理職（リーダー）の業務の組み立て方・任せ方
- ②管理職（リーダー）に期待される役割 管理職（リーダー）の3大任務
- ③できるリーダーが関心を持ち、実行を心にかけている8つの行動指針
- ④自分プロジェクト 実践を通じて、課題解決力を鍛えよう！
- ⑤部下指導ケーススタディ